



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

- 創 立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
- 会 長■ 大塚 裕正 ■幹 事■ 岡田 敦志 ■会報委員長■ 小林 透
- 事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2021-22年度

第2776回

2022年6月17日(金)点鐘12:30 (曇り)

- ◆ロータリーソング『手に手つないで』
- ◆四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆会長挨拶及び報告 大塚 裕正会長

第4グループのゴルフコンペに参加してきました。40名超の参加で大変盛り上がりしました。



ところで、先日名古屋に行く機会があったのですが、帰りに水族館で「イワシのトルネード」を見てきました。どうやったらあんなに渦を巻くのか？すごいなあ！と思ってよく見ていると袋詰めの際を上下に揺らすと、それ食べるためにイワシが動く習性をうまく使っていて、さらに下から照明をあてて演出をしているのです。すごいなあという思いとなんか騙されているみたいな微妙な感覚になりました。ただ、生き物を扱うことから、沢山のお客さんが入らないと施設の維持が大変であろうことも同時に感じまして、コロナの影響でお客さんが少ない時には大変だったのではないのでしょうか。水族館のあと、いつもは東名を使って帰るのですが、中央道を通って帰ってきました。山道の為起伏も激しく、東名を走る時よりも燃費も悪くなりましたが、ちょっとした旅気分となりました。

◆出席報告 (会員数47名)

出席者数	欠席者数	ビジター	6/3 修正出席率
29名	18名	0名	61.70 %

◆ロータリー財団より記念品伝達

第1回ポール ハリスフェロー寄付 戸井田 泰明会員



◆幹事報告 岡田 敦志幹事

特にありません

◆ニコニコボックス報告

●大塚 裕正会長、岡田 敦志幹事

梅雨に入り、寒い日・暑い日と寒暖差が激しい日々が続いています。体調など崩さないようにご自愛ください。先週は、職場訪問「ななゆめの里」で知識を深め、ウナギを食べながら親睦を深め、東京ドイツ村で結束を深める。と、ロータリーらしい充実した一日となりました。ご協力いただきました山本さん、設営していただいた伊藤さん・杉本さんありがとうございました。

●杉本 峰康会員

先日行われました第4グループのゴルフコンペで第3位に入賞いたしました。ご報告とともにニコニコへ入れさせていただきます。

●杉本 峰康会員

先日は職場訪問及び親睦小旅行にご参加いただきまして有難うございました。「ななゆめの里」では、山本会員

に大変お世話になりました。勉強させていただきました。そして、八幡屋でのうなぎ、ドイツ村と久しぶりに楽しい旅行が出来ましたことを嬉しく思います。

松尾会長エレクト、鈴木次年度ガバナー補佐、伊藤委員長、水野会員、様々なご協賛を有難うございました。

●前島 孝夫会員

今週の15日に三島市へ所要があり、そこで知り合ったロータリアンから是非、米山梅吉記念館とお墓参りへ行ったらと勧められました。駅から徒歩で行ったのですが、早朝だったため、未だ閉まっておりました。必ずまた来ることを誓って帰宅しました。素晴らしいご縁に感謝！！

本日のニコニコボックス	10,000円	累計	309,800円
金の箱	671円	累計	11,849円

本日の卓話

『地区出向報告』

岡田 敦志会員

2020-21年度フェローシップ・親睦活動委員会へ、2021-22年度地区広報・公共イメージ向上委員会へ出向されました。モニターを見ながら活動の説明や様子などをお話いただきました。

“地区でご活躍いただき、有難うございます。”



ロータリーは、ポール P. ハリスという一人の男性のビジョンから始まりました。

ポール・ハリス・フェローとは、ロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証です。

ポール・ハリス・フェローの認証は、1957年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study (高等教育のためのロータリー財団フェローシップ)」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立されました。

最初にフェローとして認証された人物には、アリソン G. ブラッシュ 1937-38年度 RI 理事や、長期にわたって RI 財務長を務めたルーファス F. チャピン財務長などが含まれ、両氏ともに1946年に寄付を行いました。1953年には、アダン・バルガスさんが、女性として始めて認証を受け、1957年には2人目の女性としてハリー L. ジョーンズさんが認証されました。ジョーンズさんは、同年5人のみであった認証受領者の一人でした。

初期のポール・ハリス・フェローには表彰状が授与されていましたが、1969年にハワイで行われたホノルル国際大会を皮切りに、メダルの贈呈が行われるようになりました。このメダルは、元財団管理委員であった湯浅恭三氏のもと、日本人のメタルアーティストであるフィジュー・ツダさんによってデザインされました。今日、ポール・ハリス・フェローには表彰状とピンが贈呈され、メダルは任意で購入するというかたちになっています。

ロータリアンは、ほかの個人に感謝の意や敬意を示すために、ロータリー財団に寄付する伝統をもっています。1978年、ヴァン・テイラー地区ガバナーは、結婚34周年を記念してイダ・レトゥール夫人の名の下に寄付を行い、同夫人は25,000人目となるポール・ハリス・フェローの認証を受けることとなりました。

ポール・ハリス・フェローの初代メダル(左)とその後のメダル。長い年月の中で、このメダルとともにさまざまな襟ピンやリボンが使われてきました。

1979年の国際協議会で、ジェームス・ボーマー次期会長が、クラブからロータリアン以外で一人のポール・ハリス・フェローを出そうと、各クラブに激励の言葉を送りました。続く1980年、米国メリーランド州のパイクスビル・ロータリー・クラブがマザー・テレサの名の元に寄付を行いました。同様に、マサチューセッツ州ケープコッド地域のクラブが協同寄付を行い、エンターテイナーであるパール・ベイリーさんにポール・ハリス・フェローの認証を授けました。

このほかにも多くの著名人がポール・ハリス・フェローとして名を連ね、ジミー・カーター元アメリカ大統領、ボリス・エリツィン元ロシア大統領、アポロ13号の船員であったジェームス・ラヴェル飛行士、国連のハビエル・ペレス・デクエヤル事務総長、ポリオ・ワクチンを開発したジョナス・ソーク博士などがポール・ハリス・フェローとなっています。

第2777回例会

日時⇒ 2022年6月24日(金) 点鐘12:30
卓話⇒ 『会長挨拶』 大塚 裕正会長

《担当：小林 透》